



＊ レーザーマーカ―  
Diageo Baileys社  
用途事例

# 世界的飲料メーカーDiageo Baileys社の生産効率向上にビデオジェットが貢献

アイルランド共和国のダブリン、ナンゴールロードにあるBaileysブランドの生産拠点は、1970年代後期におけるBaileysブランドの急速な成長を受け、1982年に操業を開始しました。このブランドの飛躍的な成長は、技術革新によってもたらされました。それ以来、新しいフレーバーが数多く開発されることになり、ベイリーズオリジナルの、オレンジトリュフ、ビスコッティ、ヘーゼルナッツなどのフレーバーが生まれました。

Diageo社は世界屈指の高級酒造メーカーであり、ジョニーウォーカー、スミルノフ、ギネス、キャプテンモルガン、タンカレー、ベイリーズアイリッシュクリームなど、名高い高級品の酒類ブランドを取り扱っています。

現在、Diageo社はBaileysブランドの製品を年間最大700万ケース製造していますが、Baileysブランドの製品の種類の拡大と共に販売量もさらに増加すると予測されています。Baileysブランドは、Diageo社の高級酒類の13種類のブランドのラインアップの中でトップ3に入っているという実績もあるので、ナンゴールロード工場には、社内で技術革新を進める拠点として高い優先順位が当てられました。



「ビデオジェットのレーザーマーカは、以前と比べて、よりオペレーターにとって使いやすい装置です。メンテナンスが実質不要になりました。」

Diageo社のオペレーターである Barry Murray氏



レーザーマーカVideojet 3320を導入したことで、Diageo社のBaileysブランドの工場において、生産性は改善され、生産ラインの稼働時間を最大化できました。同時に、卓越した印字品質が達成され、ラベルとパッケージのデザインも刷新できました。

Baileysブランドのボトルにおいては、ラベルと外箱への消費期限、ロット番号、トレーサビリティ情報の印字には、最近まで、旧式のインクジェット技術を使用していました。しかし、生産現場で不良品ゼロを達成することが急務となり、旧式のインクジェットプリンタではDiageo社が求める性能レベルを維持することが難しくなりました。技術メンテナンスマネージャのChris Byrne氏は次の問題点を指摘しました。

「旧式のインクジェットプリンタでは、クリーンな印字が困難で、信頼性にも欠ける傾向がありました。また、Diageo社の求める水準のサポートが得られませんでした。メンテナンスに非常に時間がかかり、その結果、生産ラインにダウンタイムが生じていました。」

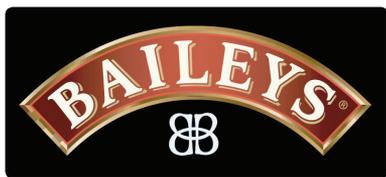
Diageo社はBaileysブランド製品のパッケージやラベルを刷新するために、2010年に「オレンジプロジェクト」という数百万ユーロに及ぶ投資を開始しました。オレンジプロジェクトによって、Baileysブランドの生産拠点の様々な領域で、効率アップを検討する機会が訪れ、瓶詰めラインでの印字とデータ入力为主要な問題点の1つであると結論ができました。

Chris Byrne氏は、瓶詰めラインでは印字とデータ入力のトラブルが日々発生しており、効率と生産性に悪影響が出ている旨をビデオジェットに伝えました。課題は、信頼性、品質、オペレーターの操作性の3つの領域で見つかりました。

まず、直近のマーキング装置の問題に対処するために、ビデオジェットは代替のソリューションを提供する機会を得ました。そこで当社が提案したのが、市場をリードする30WのCO<sub>2</sub>レーザーマーカであるVideojet3320です。Diageo社のプロジェクト入札で優先度の高かった条件は、同社の成長戦略において重要な役割を果たすことができる技術革新でした。レーザーマーキング技術はDiageo社にとって初めての技術でした。革新的技術に関する提案に引き続き、動作信頼性、優れた印字品質、および使いやすさなどトータルで性能を評価していただき試用期間を経て、ビデオジェットがDiageo社の現在および将来におけるマーキングの要件を満たす理想的なパートナーとして選ばれました。Chris Byrne氏は次のように述べています。

「革新的なソリューションがどのように当社をサポートできるのか、という説明については、ビデオジェットが群を抜いているのは一目瞭然でした。一方、他のマーキング装置のサプライヤは、従来の装置と同種の製品を提案してきました。我々が探していたのは、シンプルかつ高速で、信頼性の高いソリューションです。また、その目標を達成できたのは、ビデオジェットのサポートのおかげです。」

Diageo社は、レーザーマーカ Videojet 3320を使用することで、Baileysブランドの工場での生産性を向上させて、生産ラインの稼働時間を最大化するチャンスを得ることができた上、新しいパッケージデザインの価値を高める優れた印字品質のメリットも享受できました。ボトルラベルと外箱の両方にレーザーマーキングを行うことで、標準化が達成され、既存の装置では達成できなかった優れた印字品質が実現できたのです。





Baileysブランドに相当する世界的に認められたブランドを扱うときは、プロセスの各ステップにおいてブランドマネージャの承認を求めることが求められます。ブランドイメージを考慮に入れることが非常に重要でした。ビデオジェットはブランドチームとの緊密な協力関係を通じて、パッケージデザインとの相乗効果が期待できる印字品質を提供することができました。

「図柄を補完する印字（ブランドイメージに深く関わるもの）を行うときにはレーザーマーカが効果的で、明らかに大きな違いが出ます。ボトルラベルと箱に対するビデオジェットのレーザーマーキングの品質水準は非常に高く、ブランド価値をサポートし、まるで図柄の一部であるかのように見える品質が達成できていると思います。」（Byrne氏）

新たな装置を採用したことで、Baileysブランドの工場は安定した印字品質を得ましたが、この工場では、さらに信頼性やオペレーターの操作性などの克服すべき課題もありました。改善が必要な分野の筆頭はメンテナンスの削減でした。というのも、古い装置のメンテナンスに技術チームは非常に多くの貴重な時間を費やしていました。つまり、生産ラインにダウンタイムが生じ、生産性にも悪影響が出ていたのです。

Diageo社の見積りでは、従来のマーキング技術を、Videojet 3320のレーザーマーキング技術に差し替えることで、ダウンタイムおよびメンテナンスにかかるコストを年間90,000ユーロ（約1260万円）低減できたことに加えて、品質問題の減少により20,000ユーロ（約280万円）コスト低減でき、さらに拠点での総合設備効率(OEE)を1%節約することができるとのことです。

「全体的な生産性が大幅に改善されました。ダウンタイムが減少するとともに信頼性も向上し、操作も簡単になりました。」と、Diageo社のパッケージ担当のエンジニアであるRoss Phelan氏は述べています。

Diageo社はデータ入力への課題に対処するために、バーコードスキャンシステムを含むビデオジェットの印字事故防止ソリューションの1つを導入し、データ入力の誤りの可能性を排除しました。オペレーターにとって大きな負荷軽減となったのは、手動による情報入力が不要になったことです。これにより、オペレーターは常に正しい内容を正しい製品に印字できるという自信を持てるようになりました。印字ミスによる製品のリコールややり直しは、今や過去のものになりつつあります。

「ビデオジェットのレーザーマーカを導入してから、ミス  
の数が大幅に減りました。このインターフェイスとバーコ  
ードスキャナを使用することで、各ジョブでの情報入力  
が非常に簡単になります。ビデオジェットのレーザーマー  
カーは、以前の装置と比べて、オペレーターによって使いや  
すい装置です。メンテナンスが実質不要になりました。」  
と、Diageo社のオペレーターである Barry Murray氏は  
述べています。

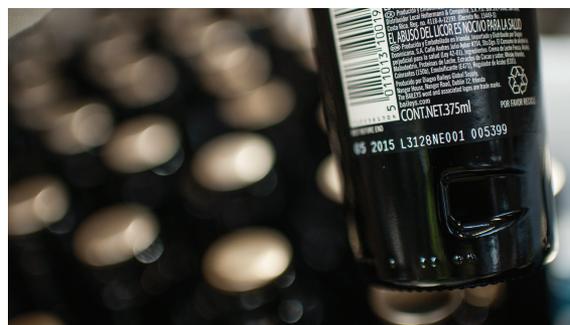
レーザーマーカVideojet 3320は、オレンジプロジェクト  
の一環としても購入された Diageo社の新しいKrones  
社のラベリングシステムにも取り付けられました。ビデオ  
ジェットは、グローバルレベルでKrones社との強力な戦  
略的OEM関係を構築しており、連携してDiageo社に対し  
て合理的な設備の設置と卓越した水準のカスタマー  
サービスを提供しました。

「設置に関する心配は何もありませんでした。出荷前検査  
では、全ての検査項目がレーザーマーカとラベリング  
システムに対し、シームレスに行われました。ビデオジェ  
ットがもたらすグローバルパートナーシップによるメリッ  
トは、当社が初めて経験するものでした。レーザーマーカ  
の設置をOEM先のドイツで完了してもらえたため、トー  
ータルで私どもにとっては負担が少ない方法で設置準備が  
進みました。」(Byrne氏)

「ビデオジェットの装置は、品質と信頼性の面で評判が  
良いので、安心して最先端の機械設備に取り付けられ  
ます。我々は常に協力して作業を行い、お客様にとって  
負担の少ないプロジェクト進行を心がけています。」  
(Krones AG社 大手キアアカウントセールス  
プロジェクトマネージャManfred Kuhn氏)

オレンジプロジェクトが終わり、新しいBaileysブランド  
ボトルが発売された今、ビデオジェットとDiageo社は、  
実際の製品を見て達成感を得ています。

「設置および設置後の両方の観点からみて、ビデオジェ  
ットが継ぎ目のない非常に良質なサポートをしてくれた  
と評価しています。当社のブランド価値にふさわしい  
外箱やボトルラベルのマーキングが完成できたことに  
非常に満足しています。皆が良い仕事をした成果です  
から、もちろん嬉しいです。」(Byrne氏)。



TEL: 0120-984-602  
E-mail: [info@videojet.co.jp](mailto:info@videojet.co.jp)  
URL: [www.videojet.co.jp](http://www.videojet.co.jp)

ビデオジェット社  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10  
テレコムセンタービル 西棟 6F

©2015 Videojet Japan.— All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告  
なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の  
情報をご確認ください。

20151022

 **VIDEOJET.**